時事新報

第三千四百二十九號
明治廿五年八月廿四日 水曜日
舊暦壬辰七月三日 (戊午)
(西暦一千八百九十二年)

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報定價

時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜休刊

〇時事新報社より直接に遞送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料(前金)

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄送れ付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんとを請ふ

時事新報

支那の製絲改良の計畫

輓今横濱の絲況は至極順當のよし我貿易の爲め誠に大慶の至りなれども之に付け其前途を想像するときは決して安心す可らざるみとの多き中にも隣國支那の競爭は最も深く注意せざる可らず蓋し從來本邦絲の支那絲を凌駕して市場に聲價を得たる所以のものは主として絲質の彼に優るあるが故なりしに支那にても近年輸出絲の漸次減却したるを憂へ正に睡を醒まして製絲改良の計畫を務め現に此程の時事新報に見えたる近報にも支那税關雇外國人は非常の熱心を以て蠶種の改良を決行せんと欲し佛國專門家に往復して其方法順序を講究し猶は實地に就き着々歩を進めて百方盡力中の由聞ふに支那の製絲に注意を怠るや年久しきみとなれども此回は最近十年間の統計に徴し十年前と十年後との間に三割の減却を見たりとて大に驚き憤然改良に從事するに至りたりとのみとなれば其奮發も自から尋常一樣の場合と異にして一念動く所或は著しき進歩を見るみとなしとも云ふ可らず人或は絲の直段に重きを置き彼の輸出税を免除する等その他種々の工風を講じて絲價をだに廉ならしめば改良の事は左まで急ならずと云ふもあらん敷價のますく廉なるに隨ひ賣行にも妙なるは勿論なれども元來生絲は奢侈品に屬するが故に直段の低廉よりは寧ろ品質の良好を貴ぶものにして前に記したる本邦絲の米國市場に支那絲を壓したるがごときも又た今年の横濱にても機械製絲の賣行活潑なるに引替へ坐繰その他の劣等品は概ね不捌けなりと云ふがごとき他に多少の事情もある可しと雖も第一要は品質の如何に存するみとにして若しも改良を怠るに於ては商賣の根本より衰頽するの憂なしと云ふべからず然り而して本邦絲の今日まで好況を得たるものは恰も支那の怠慢を利したる僥倖と云ふも不可なき次第なれば其支那にして果して改良の功を奏するときは彼も亦是れ天賦の蠶地なり其生産の勃然として人を驚かさんは最も我輩の掛念する所にして未雨に綢繆の計を急ぐ所以なり今我國の實況を顧るに蠶種紙の粗惡なる殊に甚だしく比年輸出高を減ずる上に其價格も次第に下落するの傾向にして種紙その物の貿易は兎も角も之が爲め成繭の劣等を免れざるに至ては大に警戒を加へざる可らず蠶種檢查法案は曩に國會の議に上らずして患み又その實施の方法に付きては世論も稍々動搖せしが要するに檢查の急要なるは疑を容れざる所なれば次期の國會に於て其修正すべきは宜しく修正を加へ必らず實施の運に至らんとみを望ましけれ又製絲法の改良も同樣忽にす可らざる要用にして之と共に生絲檢查所の設立も市場の信用を固くするの機關たる可し右の外商賣の實地に於ては外國需用の詳細を調查する等凡そ及ぶ限りの力を盡し生絲の運命の萬々歳を期せざる可らず夫の横濱の絲況活潑なりとて喜び緩慢なりとて憂ふるが如きは是れ寧ろ目前の談のみ更に眼界を遠くし將來立國の命脈を此一樣に繫がんとするの工風如何を思ふときは改良の急なる實に日亦足らざるの感ある可し蓋し從來生絲改良の意の如くならざりしは當業の人々が利に走るの急なるに過ぎ少額の費用を拋ちて多量の絲を得んと欲するに由るとなれども既に生絲は我貿易品中の最重要に位して國の運命も之に繫るとある上は最早や私人の營利に一任して自然の成行を傍觀す可きにあらず宜しく之を國家事業の一として經營畫策せざる可らざるみとなれば公私ともに全力を傾けて日本の一大利源を空ふするの悔を取らざらんみと我輩の切に望む所なり

雜報

〇唯讓位の一方あるのみ　此度英國の總撰擧に反對黨多數を占めたりとの報女皇陛下の許に達するや陛下は兼て自由黨の政權を握るみとを好ませられざるが故に痛く御心を惱ませられて早速デヴォンシーア公を召寄せられ何とかして此度グラッドストーンを呼出して新內閣を組織せしむるみとを避るの路はなかる可きやと御下問あらせられし處公は之を避るの路は唯陛下が王位を退かせ給ふに在るのみと答へしを以て女皇陛下も已を得ず保守黨內閣持續のみとを斷念せられし由近着の英字新聞に見ゆ

〇露國の進軍、英國の騷擾　印度カルコッタ府より倫敦のタイムス新聞社へ達したる報知に云く露國の軍隊はヒンヅー クーシ 山脈に至るまでベーミル地方を占領したり即ち先年露國の大佐ヤーノッフが引拂ひたる地方を再び占めたるなりと此報知は人心を激昂して是れ全くグラッドストーン氏の撰擧競爭に勝ちたるが爲めにして氏はソールズベリー卿よりも露國の侵略を防ぐに活潑ならざる可しとの確信、露京セイント ピータスバルグに行はるゝが爲めなりと云ふ露國の侵略は英國外務省內を騷然たらしめソールズベリー卿は活潑に此事件に當り居れり又みの侵略の爲めに困難を被りたるは支那及びアフガニスタンなり就中損失を感じたる者の甚しきは多分支那なる可し蓋し中央亞細亞に於ける支那の歷史を案ずるに凡そ支那帝國中にて支那が此地方ほど愛惜する所の部分はなく又之よりも死力を振ても守らんとする處はなかるべしアフガニスタンも亦大なる損失を被る可し是れぞ大英國の責任のある所なり露國人は千八百七十三年に國境と定めたるオクサス河の北源を廢し其南源を以て境とし二流の間の大なる土地を露領に併呑せんと試みつゝあるなり是れさへ既に大なるものにして殊に支那の損失は甚しきものなるが露國人は之を以て足れりとせずバダクシャン地方の中央を横切て一條の線を引き是れより以北、千八百七十三年に同意一決したるオクサス河の境までを掠奪して、アフガニスタンを侵入したる斯る傍若無人の大侵略は支那、アフガニスタン又英國も之を許さゞる可しとは云はずしても明かなりと八月二日倫敦發の報知に見えたり

〇岐阜に於ける星議長歡迎會　名古屋に滯在中なりし星亨氏は岐阜地方有志者の招待に應じ去る二十一日午後三時三十五分の列車にて青山朗國嶋博外二三氏と共に名古屋市を發し同四時四十分岐阜市に着し出迎の人々と共に旅館津ノ國屋に入り休憩の後何れも懇親會場濃陽館に赴けり來會者七十餘名席定まるや藍川美邦氏發起人一同に代りて歡迎の辭を述べ終るや星氏は起ちて一時間許りの談話を爲し次ぎに代議士青山朗氏は余は中立議員なれども衆議院議長の前には黨派なし云々とて來遊の勞を謝し夫れより小室重弘氏は起ちて岐阜縣治の失政を攻擊し終りて杯酒の間に時事を談じ星氏は衆議院議長の光榮を滿身に荷ひ將に此席を辭し去らんとし來會者に告げて曰く衆議院議長は國民の代表者なるを以て旅行をなすにも陛下に奏請し而後に途に上る其然る所以のものは人民の代表者たるを以て此禮遇を與へ給ふなり然るに余が岐阜に入るや地方官は何等の禮を以てしたるか巡查の護りさへなきにあらずや余は地方官の禮遇を欲するにもあらず巡查の護りを要するにもあらず然れども岐阜地方官が人民の代表者に對する此くの如くなるを以て之を觀れば岐阜縣官が平生人民に對するの事情亦知るべきなり云々と述べ終るや滿場拍手盛に起れり同十時頃全く散會し同夜は一同津ノ國屋に一泊し翌朝一番發の汽車にて名古屋に歸りたりと

〇東京組合代言人矯風會　近年東京組合代言人中には往々破廉耻の行爲をなし遂には刑法の制裁を受くるものさへあり斯くては府下同業者全體の信用を害するを以て今度代言人平松福三郎氏外三名の發起にて新たに組合代言人にて矯風會を設立せんと目下奔走盡力中なりと云ふ

〇兌換銀行券週報　去る十五日より二十日に至る一週間平均の日本銀行兌換券發行高、保證準備及び流通高等を前週と比較して表記せば左の如し

	自八月十五日至八月廿一日 一週	自八月八日至八月十三日 一週	增減比較
兌換銀行券發行高	一〇八、九九九、六九二圓	一〇七、五四九、一三二圓	一、四五〇、五六〇圓 增
準備並保證			
金貨及金塊	二二、七四〇、二〇〇	二二、七四〇、二〇〇	—
銀貨及銀塊	四四、九三一、八四五	四四、六八〇、五九九	二五一、二四六 增
正貨合計	六七、六七二、〇四五	六七、四二〇、七九九	二五一、二四六 增
公債證書	一四、五〇〇、〇〇〇	一四、五〇〇、〇〇〇	—
政府證券	二二、〇〇〇、〇〇〇	二二、〇〇〇、〇〇〇	—
證券	—	—	—
商業手形	四、八二六、九四七	三、六二八、五五三	一、一九八、三九四 增
保證合計	四一、三二六、九四七	四〇、一二八、五五三	一、一九八、三九四 增
中央金庫有高	五、六七四、七四六	三、六六九、九九六	[illegible] 增
同紙幣交換に充つる基金	一六、〇〇〇、〇〇〇	一九、〇〇〇、〇〇〇	—
流通高	八九、五四四、九四六	八七、八七九、一七六	一、六六五、七七〇 增

〇支那の蠶絲改良法案　近來淸國
ある由每度時事新報の報道する所
紐育府駐在の總領事高平小五郎
以て外務省に送りたる報告あり
と詳細なるを以て左に掲げて當業
支那蠶絲改良の法案に關し近頃
を以て追て其概要を報道すべ
元來支那に於ては蠶絲の改良に
らざれども蠶業者は僅に皮相的
止り其根本の原理に暗きを以て
大體上の計畫にして分科的の組
其養蠶製絲の方法は依然舊慣を
以て殆ど天爲に一任するの有樣
絲の產額を減ずるの傾ありて
望すべからざるの景況なり現に
八十八年に至る十年間上海より
及屑絲の統計を見るに七十九年
絲の輸出平均六百四十一萬七千
年間は僅に四百四十三萬千七百
間每年二百萬斤即ち三割の減
年間屑絲輸出の景況を案ずるに
兩年は平均八十九萬二千五百
の八年間は一躍して二百五十
至り每年百六十一萬斤即ち殆
の如く生絲と屑絲の間に增減
ち支那に於て蠶病猖獗の結果
り何となれば若し生絲の產額
減ずべきは自然の道理にして
みとありとするも此の如きの
あればなり然るに右の如く生
絲のみ增せるは即ち養蠶事業
て蠶病益々猖獗を極め爲に生
却て屑絲の增額を見るに至り
支那絲の產出は右の如き景況
て他國の製絲に對峙する能は
ざれども此衰頽の景況は即ち
の改良を決行せしめんとする
なれば其今日の衰況に因りて
みとを記臆せざるべからず爰
那の税關事務は世人の熟知す
委付するを以て此外國人等は
務を改進せんとし税關と直接
と雖も苟くも支那の殖產興業
良法を採用して之を矯正し以
各自の功績を維持せんとする
のために內地の製法を改正し
としたるも税關雇外國人の卒
のために歐洲の器械を輸入し
も亦同じく税關雇外國人の勸
ば此外國人等は右の如く生絲
り長く傍觀すべからざるみと
道せんとする蠶種改良の方案
たるものなれば讀者は之を以
し輕々看過すべきにあらざる
支那税關雇外國人中蠶絲業改
港一税關長たりし獨逸人クラ
は本業に關する各般の問題に
到精密の調查を遂げたる趣は
昂商業會議所に於て支那蠶絲
に當り總税務司ハートより各
文中に明白なれば支那の蠶絲
の豫知せざるものなかるべけ
とする所の事は果して氏の創
らず依て單に探聞の儘を記述
雇外國人は非常の熱心を以て
とし佛國專門家に往復して其
後先づ第一着として支那の各
る蠶兒の種類及性質を調查せ
起稿し印刷に付して浙江省の
答を徵求し且つ養蠶季節の後
見本を送りて檢查に供せしめ
して又別に各種の蠶卵を買求